

アンケート名	対象	設問項目	設問番号	報告書 ページ番号	設問内容	結果	ポイント	計画の基本方針	計画の重点施策	主な取組の項目
市民意識調査アンケート	市民	松原市の学校園教育について	問6	7	学校教育における現在の取組みについて	・学校園教育における現在の取組みについては、『小学校・中学校の施設・設備が充実している』	多くの方は、学校園教育における現在の取組みについて、小学校・中学校の施設・設備が充実していないと考えている	(2) 安心・安全に学ぶことができる学校園づくりを推進します	(1) 安心・安全な学校園づくりの推進	(1) - 1 学習環境の充実
市民意識調査アンケート	市民	松原市の学校園教育について	問6	7	学校教育における現在の取組みについて	・学校園教育における現在の取組みについては、『“そう思わない”の割合が高いのは『学校園は地域に開かれ、地域ぐるみで子どもの教育が行われている』	多くの方は、学校園教育における現在の取組みについて、学校園は地域に開かれ、地域ぐるみで子どもの教育が行われていないと考えている	(2) 安心・安全に学ぶことができる学校園づくりを推進します	(2) 持続可能な学校園運営体制の充実と教職員の資質向上	(2) - 1 学校園運営体制の確立と開かれた学校園づくり
市民意識調査アンケート	市民	松原市の学校園教育について	問7	32	子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思うか	・子どもたちの将来像については、『まわりの人に思いやりがある人』の割合が57.0%と最も高く、次いで『規則を守り、他人に迷惑をかけない人』の割合が42.4%、『自分の意思を適切に表現できる人』の割合が30.4%、『家族を大切にできる人』の割合が27.2%	子どもたちには、まわりの人に思いやりがある人になってほしいと考えている方が半数を占めている	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(2) 豊かでたくましい人間性の育み	(2) - 1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり
市民意識調査アンケート	市民	松原市の学校園教育について	問8	34	学校教育の中で、能力や態度について、現在の状況はどのように感じているか	・学校教育で身につけるべき能力や態度については、身につけており、重要性も高い項目として、『善悪を判断する力』『他者に対する理解と思いやりや優しさ』『人間関係を築く力』など。一方、身につけていないが、重要性は高い項目として、『自ら学び、考え、主体的に行動する力』。	学校教育において「主体性」が身につけていないが、重要性は高い項目となっている	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(2) 豊かでたくましい人間性の育み	(2) - 1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり
市民意識調査アンケート	市民	松原市の学校園教育について	問9	89・90	教育施策や教育事業について	・力を入れるべき教育施策や教育事業については、『必要である』の割合が高いのは『子どもの学習意欲が高まる授業づくりを工夫する』	学習意欲の向上に対するニーズが高い	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(1) 社会の変化に応える確かな学力の育成	(1) - 1 家庭・地域との協働と検証をとおした「確かな学力」の育成
市民意識調査アンケート	市民	松原市の学校園教育について	問9	89・90	教育施策や教育事業について	・力を入れるべき教育施策や教育事業については、『必要である』の割合が高いのは『悩みがある場合、専門家に気軽に相談できる体制をつくる』『いじめや不登校等の未然防止に関する生徒指導の充実を図る』	力を入れるべき教育施策や教育事業について「相談体制」や「いじめや不登校等の未然防止」のニーズが高い	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(2) 豊かでたくましい人間性の育み	(2) - 1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり
市民意識調査アンケート	市民	松原市の学校園教育について	問9	89・90	教育施策や教育事業について	・力を入れるべき教育施策や教育事業については、『必要である』の割合が高いのは『防災・防犯教育を充実し、安心安全な学校づくりを推進する』	教育施策や教育事業について、『防災・防犯教育を充実し、安心安全な学校づくりを推進する』のニーズが高い	(2) 安心・安全に学ぶことができる学校園づくりを推進します	(1) 安心・安全な学校園づくりの推進	(1) - 2 安心・安全な学校園づくり
市民意識調査アンケート	市民	松原市の学校園教育について	問9	89・90	教育施策や教育事業について	・力を入れるべき教育施策や教育事業については、『必要である』の割合が高いのは『子どもと教員が向き合う時間を確保する』	「子どもと教員が向き合う時間を確保する」ことへのニーズが高い	(2) 安心・安全に学ぶことができる学校園づくりを推進します	(2) 持続可能な学校園運営体制の充実と教職員の資質向上	(2) - 1 学校園運営体制の確立と開かれた学校園づくり
市民意識調査アンケート	市民	家庭教育・地域教育等について	問10	127・130	家庭教育力、地域の教育力はどの程度機能していると思うか	・『家庭教育力』の現状については、『機能している』の割合が52.9% (H30: 44.5%)、『機能していない』の割合が23.7% (H30: 27.2%) ・『地域の教育力』の現状については、『機能している』の割合が27.5% (H30: 21.7%)、『機能していない』の割合が43.6% (H30: 44.4%)	『家庭教育力』『地域の教育力』については、機能してきている	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます (3) 学びや育ちを支えるための地域における協働の取組みを推進します	(2) 豊かでたくましい人間性の育み (1) コミュニティスクールの推進と学校園と地域の協働による家庭教育支援	(2) - 2 子ども・子育て支援施策の充実 (1) - 1 地域の教育力の向上と教育コミュニティの育成

アンケート名	対象	設問項目	設問番号	報告書 ページ番号	設問内容	結果	ポイント	計画の基本方針	計画の重点施策	主な取組の項目
市民意識調査アンケート	市民	家庭教育・地域教育等について	問11	133	「家庭教育力」をより高めていくために、必要な取組み	・家庭教育力を高めるために必要な取組みについては、「保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる」の割合が50.0%と最も高く、「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」の割合が47.4%、「保護者が子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ」の割合が43.0%	家庭教育力を高めるために、「保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる」「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」「保護者が子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ」ことへのニーズが高い	(3) 学びや育ちを支えるための地域における協働の取組みを推進します	(1) コミュニティスクールの推進と学校園と地域の協働による家庭教育支援	(1) - 1 地域の教育力の向上と教育コミュニティの育成
市民意識調査アンケート	市民	家庭教育・地域教育等について	問12	136	「地域の教育力」をより高めていくために、必要な取組み	・地域の教育力を高めるために必要な取組みについては、「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツをしたりできる機会をつくる」の割合が58.8%と最も高く、「治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする」の割合が45.9%、「地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする」の割合が44.7%	地域の教育力を高めるために、「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツをしたりできる機会をつくる」「治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする」「地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする」ことへのニーズが高い	(3) 学びや育ちを支えるための地域における協働の取組みを推進します	(1) コミュニティスクールの推進と学校園と地域の協働による家庭教育支援	(1) - 1 地域の教育力の向上と教育コミュニティの育成
市民意識調査アンケート	市民	家庭教育・地域教育等について	問13	140	子どもたちの教育について不安を感じていること	・新型コロナウイルス感染拡大の状況下における松原市の子どもの教育について不安を感じていることは、「子どもたちの健康状態や体力の低下」の割合が42.7%と最も高く、「子どもたちの学力の低下」の割合が35.1%	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、発表したり交流したりする活動の機会が減少する中、子どもたちの健康状態や体力、学力の低下に不安を感じている方が多い	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(1) 社会の変化に応える確かな学力の育成	(1) - 1 家庭・地域との協働と検証をとおした「確かな学力」の育成
市民意識調査アンケート	市民	家庭教育・地域教育等について	問13	140	子どもたちの教育について不安を感じていること	・新型コロナウイルス感染拡大の状況下における松原市の子どもの教育について不安を感じていることは、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が31.6%	新型コロナウイルス感染拡大の状況下で「問題行動やいじめ・不登校」に対して不安を感じている方が多い	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(2) 互いの人権を尊重し、豊かでたくましい人間性の育み	(2) - 1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり
市民意識調査アンケート	市民	家庭教育・地域教育等について	問14	143	子どもたちや教育について課題と感じていること	・松原市の教育の課題については、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が31.9%と最も高く、次いで「子どもたちの学力の低下」の割合が28.7%	松原市の教育の課題として、「いじめ・不登校」「学力低下」に着目する方が多い	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(1) 社会の変化に応える確かな学力の育成	(1) - 1 家庭・地域との協働と検証をとおした「確かな学力」の育成
市民意識調査アンケート	市民	家庭教育・地域教育等について	問14	143	子どもたちや教育について課題と感じていること	・松原市の教育の課題については、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が31.9%と最も高く、「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」の割合が22.8%	教育の課題としては、「問題行動やいじめ・不登校」「道徳心や規範意識などの低下」が多くなっている	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(2) 互いの人権を尊重し、豊かでたくましい人間性の育み	(2) - 1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり
市民意識調査アンケート	市民	家庭教育・地域教育等について	問14	143	子どもたちや教育について課題と感じていること	・松原市の教育の課題については、「教職員の指導力の低下」の割合が15.8%	教育の課題として、「教職員の指導力の低下」が1割を超える	(2) 安心・安全に学ぶことができる学校園づくりを推進します	(2) 持続可能な学校園運営体制の充実と教職員の資質向上	(2) - 1 学校園運営体制の確立と開かれた学校園づくり
市民意識調査アンケート	市民	家庭教育・地域教育等について	問15	147	今後、地域の学校に対して協力してみたいと思うこと	・学校に対しての協力については、「協力したいことはない」の割合が26.9%と最も高く、「通学路における登下校時の見守り活動」の割合が25.1%、「自分が持つ知識・技能を教える」の割合が22.8%	学校に対しての協力について、「通学路における登下校時の見守り活動」「自分が持つ知識・技能を教える」ことが多い	(3) 学びや育ちを支えるための地域における協働の取組みを推進します	(1) コミュニティスクールの推進と学校園と地域の協働による家庭教育支援	(1) - 1 地域の教育力の向上と教育コミュニティの育成

アンケート名	対象	設問項目	設問番号	報告書 ページ番号	設問内容	結果	ポイント	計画の基本方針	計画の重点施策	主な取組の項目
市民意識調査アンケート	市民	生涯学習・文化などについて	問16	150・165	行った生涯学習・文化活動、今後の活動意向について	・生涯学習・文化活動の現状については、「活動(参加)した」の割合が高いのは『趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など)』『職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)』『パソコン・インターネットに関すること』 ・生涯学習・文化活動の希望については、「してみたい」の割合が高いのは『趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など)』『パソコン・インターネットに関すること』『職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)』	生涯学習・文化活動の現状・希望については、「趣味的なもの」「パソコン・インターネットに関すること」「職業上必要な知識・技能」が多くなっている	(4) 郷土への愛着を深めるとともに誰もが学び続けられる機会を提供します	(1) 生涯学習の機会の拡充と歴史・文化の振興	(1) - 1 生涯学習の充実と「習の拠点」づくり
市民意識調査アンケート	市民	生涯学習・文化などについて	問17	179	今後、教育機関等で学習したいと思うか	・学びなおしについては、「環境を整備されれば学習してみたい」の割合が43.6%と最も高く、「今後学習してみたい」の割合が19.0%	学びなおしについて、環境を整える必要はあるが、学習したいと考える人が6割を超える	(4) 郷土への愛着を深めるとともに誰もが学び続けられる機会を提供します	(1) 生涯学習の機会の拡充と歴史・文化の振興	(1) - 1 生涯学習の充実と「習の拠点」づくり
市民意識調査アンケート	市民	生涯学習・文化などについて	問18	181	生涯学習・文化などにおける現在の取組みについて	・松原市の生涯学習・文化の現状については、「そう思わない」の割合が高いのは『青少年が健全に育つための取組みが十分に行われている』	多くの方は、生涯学習・文化の現状について、青少年が健全に育つための取組みが十分に行われていないと考えている	(3) 学びや育ちを支えるための地域における協力の取組みを推進します	(2) 青少年の健全育成の推進	(2) - 1 地域で取り組む青少年の健全育成
市民意識調査アンケート	市民	生涯学習・文化などについて	問18	181	生涯学習・文化などにおける現在の取組みについて	・松原市の生涯学習・文化の現状については、『(全般)松原市の生涯学習・文化環境は充実している』において、「そう思う」の割合が26.3%(H30・34.7%)、「そう思わない」の割合が24.3%(H30・22.9%)	松原市の生涯学習・文化環境は充実していると考える人は減少している	(4) 郷土への愛着を深めるとともに誰もが学び続けられる機会を提供します	(1) 生涯学習の機会の拡充と歴史・文化の振興	(1) - 2 文化財の保存と活用
市民意識調査アンケート	市民	生涯学習・文化などについて	問19	194	生涯学習・文化活動をより充実させていくために必要な取組み	・松原市の生涯学習・文化活動をより充実させていくために必要な取組みについては、「コンサートや演劇などの機会の充実」の割合が37.1%と最も高く、「文化・芸術を気軽に学べる教室の開催」の割合が31.9%、「文化・芸術施設や設備の充実」の割合が23.4%	生涯学習・文化活動をより充実させていくために、「コンサートや演劇などの機会の充実」「文化・芸術を気軽に学べる教室の開催」「文化・芸術施設や設備の充実」のニーズが高い	(4) 郷土への愛着を深めるとともに誰もが学び続けられる機会を提供します	(1) 生涯学習の機会の拡充と歴史・文化の振興	(1) - 1 生涯学習の充実と「習の拠点」づくり
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問4、5	1	勉強が好きか 勉強が好きではない理由	・勉強については、「好き」の割合が44.7%、「好きではない」の割合が54.7% ・勉強が好きではない理由については、「勉強のやり方がわからない」の割合が42.2%と最も高く、「勉強の内容が理解できない」の割合が41.8%、「授業がおもしろくない」の割合が40.2%	勉強が好きではない児童が過半数を占めている 好きではない理由として、「勉強のやり方がわからない」「勉強の内容が理解できない」「授業がおもしろくない」が高く、悪循環に陥っている	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(1) 社会の変化に応える確かな学力の育成	(1) - 1 家庭・地域との協働と検証をとおした「確かな学力」の育成
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問6	1	授業や勉強をがんばることで、どのようなよいことがあると思うか	・授業や勉強をがんばることで、どのようなよいことがあると思うかについては、「新しいことを知ることができる」の割合が69.4%と最も高く、「いろいろな考え方ができるようになる」の割合が54.8%、「友だちと協力して行動できるようになる」の割合が47.6%	新たな知識の探究心、自分の考えの広がり、友人との関係性が学習意欲につながる傾向にある	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(1) 社会の変化に応える確かな学力の育成	(1) - 1 家庭・地域との協働と検証をとおした「確かな学力」の育成
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問8-3	3	学校の授業に関することについて、どのように感じているか 「外国語の授業はよくわかる」	・学校の授業に関して、外国語の授業はよくわかるかについては、「当てはまる」の割合が65.7%、「当てはまらない」の割合が32.6%	外国語の授業について、理解できている児童は6割以上占めている	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(1) 社会の変化に応える確かな学力の育成	(1) - 1 家庭・地域との協働と検証をとおした「確かな学力」の育成

アンケート名	対象	設問項目	設問番号	報告書 ページ番号	設問内容	結果	ポイント	計画の基本方針	計画の重点施策	主な取組の項目
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問9	3	自身に当てはまるものについて	・『いろいろなことにチャレンジする』については、「思う」の割合が67.7%、「思わない」の割合が24.4% ・『自分にはよいところがある』については、「思う」の割合が62.3%、「思わない」の割合が22.2%	『いろいろなことにチャレンジする』『自分にはよいところがある』と認識している児童・生徒は6割を超えている	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(2) 互いの人権を尊重し、豊かでたくましい人間性の育み	(2)-1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問10	3	将来の夢について	・将来の夢があるかについては、「ある」の割合が38.5%と最も高く、「なんとなくある」の割合が35.3%、「ない」の割合が24.9%	4人のうち1人は将来の夢を持っていない	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(2) 互いの人権を尊重し、豊かでたくましい人間性の育み	(2)-1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問11	4	将来の生き方について	・将来の生き方については、「今、自分が好きだと思うことを将来も続けていけるように努力していきたい」の割合が74.6%と最も高く、「家族を大事にする生き方をしていきたい」の割合が51.8%、「人のために役立つような活動をしたり、仕事をしたりしたい」の割合が49.2%	将来の生き方については、「自分が好きだと思うことを続けていきたい」と考えている児童・生徒が7割を超えている	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(2) 互いの人権を尊重し、豊かでたくましい人間性の育み	(2)-1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問12	4	将来の生き方について	・将来なりたい職業があるかについては、「なりたい職業を考えているがまだ決まっていない」が40.8%と最も高く、次いで「なりたい職業がある」が30.9%、「なりたい職業をなんとなく決めている」が16.4%	4割の児童学生が、将来なりたい職業がない	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(2) 互いの人権を尊重し、豊かでたくましい人間性の育み	(2)-1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問14	4	将来の生き方について	・目標とする人がいるかについては、「いる」の割合が44.6%、次いで「いない」の割合が28.2%、「なんとなくいる」の割合が26.2%	4割以上の児童学生が、目標とする人がいる	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(2) 互いの人権を尊重し、豊かでたくましい人間性の育み	(2)-1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問15	4	とくに当てはまると思うもの	・学校等への要求については、「先生は、わたしの学力がどれくらいなのかを教えてください」「先生は、授業中、グループで話し合う時間をもっと多くしてほしい」の割合が41.9%と最も高く、「先生は、興味を持ってような学習をたくさん教えてください」「先生は、勉強をわかりやすく教えてください」の割合が34.6%	児童の学校への要求について、「1人ひとりの生徒の理解」「グループワーク」「学習意欲・理解度が高まる授業内容」のニーズが高い	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(1) 社会の変化に応える確かな学力の育成	(1)-1 家庭・地域との協働と検証をおとした「確かな学力」の育成
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問16・17	4.5	自分だけが使う携帯電話やスマートフォンを持っているか	・自分だけが使う携帯電話やスマートフォンについては、「持っている」の割合が85.0% ・携帯電話やスマートフォンについて、「特に困ったことや、いやな思いをしたことはない」の割合が51.6%と最も高く、「使っていて夢中になり、勉強やほかにしないといけないことができなくなる」の割合が30.1%、「使い方で、よく家族に注意されたりしかられたりする」の割合が16.0%	・携帯電話やスマートフォンを所持している児童・生徒は8割を超えている ・携帯電話やスマートフォンについて、何らかの支障を感じている児童・生徒は約5割	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(1) 社会の変化に応える確かな学力の育成 (2) 互いの人権を尊重し、豊かでたくましい人間性の育み	(1)-1 家庭・地域との協働と検証をおとした「確かな学力」の育成 (2)-1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問20	5	心配なことや悩みがあるか	・心配なことや悩みについては、「ある」の割合が54.5%	心配なことや悩みがある児童生徒は5割を超えている	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(2) 互いの人権を尊重し、豊かでたくましい人間性の育み	(2)-1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問21	5	心配なことや悩みは何か	・心配なことや悩みの内容については、「進路や成績のこと」の割合が53.1%と最も高く、「学校での人間関係のこと」の割合が37.6%、「新型コロナウイルスのこと」の割合が15.8%	心配なことや悩みの内容は、「進路や成績のこと」「学校での人間関係のこと」「新型コロナウイルスのこと」が多い	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(2) 互いの人権を尊重し、豊かでたくましい人間性の育み	(2)-1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問22	5	心配なことや悩みがあるときの相談相手	・心配なことや悩みの相談相手については、「だれもいない」の割合が18.0%	約2割の児童・生徒が、心配なことや悩みの相談相手はだれもいない	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(2) 互いの人権を尊重し、豊かでたくましい人間性の育み	(2)-1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり

アンケート名	対象	設問項目	設問番号	報告書 ページ番号	設問内容	結果	ポイント	計画の基本方針	計画の重点施策	主な取組の項目
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問30	7	親や家族に対してどのようなことを望むか	・自分の親や家族に対して望むことについては、「おこつたり、口うるさく言ったりしないでほしい」の割合が39.5%と最も高く、「他人やきょうだいなどと比べないでほしい」の割合が29.2%、「がんばっていることをもっと認めてほしい」の割合が26.1%	親や家族に対して望むことは、「おこつたり、口うるさく言ったりしないでほしい」「他人やきょうだいなどと比べないでほしい」「がんばっていることをもっと認めてほしい」が多い	(3) 学びや育ちを支えるための地域における協働の取組みを推進します	(1) コミュニティスクールの推進と学校園と地域の協働による家庭教育支援	(1) - 1 地域の教育力の向上と教育コミュニティの育成
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問31	7	地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じるか	・地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じるかについては、「感じる」の割合が64.3%、「感じない」の割合が34.7%	地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じている児童・生徒は6割を超える	(3) 学びや育ちを支えるための地域における協働の取組みを推進します	(1) コミュニティスクールの推進と学校園と地域の協働による家庭教育支援	(1) - 1 地域の教育力の向上と教育コミュニティの育成
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問32	7	どんなときに地域の大人に見守られていると感じるか	・住んでいる地域では、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じる内容については、「子ども安全見守り隊(登下校時の通学路での見守り)」の割合が82.9%と最も高く、「子ども110番の家」の割合が33.2%、「青色防犯パトロール隊(登下校時の青色灯付きの車による見守り)」の割合が19.8%	地域の大人が見守ってくれていると感じる内容は、「子ども安全見守り隊」「子ども110番の家」「青色防犯パトロール隊」が多い	(2) 安心・安全に学ぶことができる学校園づくりを推進します (3) 学びや育ちを支えるための地域における協働の取組みを推進します	(1) 安心・安全な学校園づくりの推進 (1) コミュニティスクールの推進と学校園と地域の協働による家庭教育支援	(1) - 2 安心・安全な学校園づくり (1) - 1 地域の教育力の向上と教育コミュニティの育成
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問33	7	学校の行き帰りにあぶない目があったことがあるか	・学校の行き帰りにあぶない目があったことがある児童・生徒の割合が33.1%	約3割の児童・生徒が、学校の行き帰りにあぶない目があったことがある	(2) 安心・安全に学ぶことができる学校園づくりを推進します (3) 学びや育ちを支えるための地域における協働の取組みを推進します	(1) 安心・安全な学校園づくりの推進 (1) コミュニティスクールの推進と学校園と地域の協働による家庭教育支援	(1) - 2 安心・安全な学校園づくり (1) - 1 地域の教育力の向上と教育コミュニティの育成
子どもアンケート	小学6年生 中学3年生		問36	8	中学校に進学するときに不安に思うこと	・小学6年生の人の中学校に進学するときに不安に思うことについては、「授業がむずかしくなること」の割合が76.3%と最も高く、「上級生との関係」の割合が54.2%、「友だちができるかどうか」の割合が52.9%	中学校に進学するときには、「授業がむずかしくなること」「上級生との関係」「友だちができるかどうか」に対して不安に思う児童が多い	(1) 「確かな学力」の向上を図るとともに「生きる力」を育みます	(1) 社会の変化に応える確かな学力の育成 (2) 互いの人権を尊重し、豊かでたくましい人間性の育み	(1) - 1 家庭・地域との協働と検証をとおした「確かな学力」の育成 (2) - 1 規律・規範の確立と「ともに学び、ともに育つ」学校づくり